

## 一般質問及び答弁

**横尾議員** 私の方からは、本町のこれからの予定のイベントに対して牟岐町としての取り組みはということに対して質問させていただきます。質問の前に新聞報道でもありましたが、海部病院移転の件につきましては、先日の臨時議会で承認され、事業着手の運びになりました。私個人としては、遅滞なく事業推進を願うばかりですが、避難場所用地を設置しての事業との計画なので、その事については、事前に住民説明をしたとは聞いていません。議会において、町議員に対しては説明をし、承認された経緯があります。町事業に対して情報の全てを開示しろとは言いませんが、住民の関心事である場合は必要です。御一考していただきたいと思っております。さて、質問事項に入りますが、これから11月に国文祭、12月、食の博覧会、2月、3月と出羽島アート展、3月には全国ほんもの体験フォーラム in 徳島が開催予定です。いずれも本町が主会場、関連会場となり、開催される予定となっています。これらのイベントについて、本町としては、活性化に繋げるためにどのような関わりを持ち、取り組んで行く予定なのか、お聞きしたいと思います。交流人口の増加が期待できるこれらのイベントに対して、どのような施策を考えているのかということでもあります。また、今回の町長所信表明で交流人口の増加、一次産業の再生の話がされていますが、具体的な施策が出ていません。これからのこの目白押しのイベントを利用した町の独自の施策を各課立案し、関わり方を示して欲しいと思います。期待しますが、民間主導ではなく町の明確な戦略を持つての指針を示さなければ、この先の町の将来を左右しかねません。充分にご考察を持ってご答弁いただきたいと思えます。そして、最後に各課長間会議において、役場内の情報の共有発信はどうなのか。議論されているのかお伺いしたいと思います。なぜなら、今回の一連のイベントの広報、告知に関しても横の繋がりを持ってお互いに情報発信をしていければ、相乗効果を持った経費削減等に繋がるからです。予算書では、これと言ってわかりませんが、以上です。次に移住交流センターの施策状況はについて、質問いたします。まず移住交流センターの仕事は何か。この移住交流センターはどんな目的で設立されたのか。そして移住交流センターの主な仕事は何なのでしょう。商工会と連携していますが町が考える商工会に対しての役目、役割等についてお答えいただきたいと思えます。以上です。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** 横尾議員のご質問にお答えいたします。議員ご指摘のように国文祭を始めとした各種イベントの開催は、交流人口の増加と、牟岐町のPRによる

更なる交流人口の増加に繋がると思います。従いまして、国文祭におきましては、牟岐町でフラメンコを実施していただくということで、諸準備やポスターによるPRを行っておりますし、全国ほんもの体験フォーラムは、開催を決定当初より県と協議を重ね現在にいたっておるような状況でございます。このフォーラムの開催にあたりましては、開催時にさらに住民の方もご協力いただいて、盛り上げていく必要があると考えております。ただ、現在、よくばり体験や少年自然の家への研修などで、ある程度の人が牟岐町を訪問していただいていると思いますが、牟岐町に来ていただいても、消費していただける場所が少ない。物が少ない。つまり、活性化にあまり結びついていないというのが現状でございます。従いまして、町といたしましては、皆さんに協力体制を築いていただく、あるいは個別に土産物を開発していただく、また、町の観光案内を積極的にしていただくために、物産館を開設した次第でございますが、現時点では、諸般の原因から、町民の皆様のご理解も頂いていません。従いまして、私は、まず商工会と連携し、この施設の充実について取り組んで参りたいと考えております。また、牟岐町のPRを積極的に行いたいということで、インターネット等の効果的な媒体を使って実施できるよう今年度の初めです。5月、町のHPを更新いたしました。現時点では、まだ十分情報を掲載できておりませんが、より多くの職員が機動的に情報を掲載できるようになっておりますので、今後、より一層充実していくと考えております。そして、町の活性化に意欲ある方が、より積極的に取り組んでいただけるよう活性化基金も用意いたしましたので、ご利用いただきたいと思います。活性化に向け、町が行うことは、多くの町民の方が協力し、熱意を持って取り組んでいただけるようなシステムや器を用意することだと考えております。来年には、現在の小学校や保育所の校舎も空きます。これらの施設も活性化に向け有効に使えるよう取り組んで参りたいと思います。また、活性化には、仕事を創る、町内での消費を増やす、交流人口を増やすなど色んな意味、目的がございますが、やはり最終目的は、町内の定住人口を増やす、仕事を増やすということでございます。そのためには、牟岐町のポテンシャルと言いますか、潜在的な魅力を上げる、あるいは最大限に魅力を発揮する必要があります。町の美しさ、他に負けないような料理、お菓子の創造を図り、町の魅力を高めていく必要があります。そのためには、今議会の冒頭でも申し上げましたように、牟岐町本来の潜在的魅力の復活を図る。つまり、一次産業の再生、これは具体の策と言いましても農業をどうやって活性化していくか、漁業をどうやって活性化していくか、林業をどうやって活性化していくかというのは、一つの方策でできるものではございません。これは皆さんで協議して行って、やっていくものだと考えております。いづれにしましても町がより積極的に取り組んで参りたいということでございま

す。一次産業の再生とそれを中心とした牟岐町の魅力の復活に向け、難問山積、非常に多難ではございますが取り組んで参りたいと考えております。次に移住交流センターの施策状況についてということでございますが、議員、ご指摘のとおり移住交流センターが現時点では有名無実と言いますか、機能していないと言うか、実際にこちらの働きかけが悪いのか、それか牟岐町に移住したいという方がおいでないのか、そこらがもう一つよく分かりませんが、何とかする必要があると思っております。昨年実施した空家調査でございますけども、その後の空家の利活用希望調査によりまして、現在2戸の方が、提供をしていただけるということで、町のHPに掲載しておりますが、現在のところ申し込みはございません。また、これとは別に、2戸2人の方から、IT企業のサテライトオフィスとしてご利用があるのであればお貸ししたいというふうなご提案もいただいておりますが、これも県の方にこういうような希望もありますというお願いをしていますが、現時点では県の方から希望企業のご紹介はございません。県にお聞きいたしますと、やはり神山町や美波町のように町の方で主体的に勧誘しなければ企業誘致は難しいとのことでございます。今後、機会を捉え、なかなか難しいのでございますけども、町外の方に何とか勧誘について実施してまいりたいと考えております。現在、商工会に空き家、空地情報のご提供を委託しておりますけども、確かに、もっともっと、商工会と連携して、また町が自ら、もっと踏み込んだ施策を取ってやっていく必要があると考えております。例えば、賃貸する場合の空家の改修費助成でございますとか空家・空地の管理条例の制定、一定数の良質な空家の確保等、町外から申し出があれば直ぐに提供できるような、また、紹介できるようなシステムの構築が必要であると考えております。一步ずつでございますけども、少しずつ前進してまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

**枅富議長** 横尾議員。

**横尾議員** 町の姿勢としては、ちょっと感じることは受け身であるというふうなことを思いました。一次産業の復活という面におきまして、協議会的な設立を会をですね、というふうな形でも持っていけないと前に進まないというふうに思いますので、是非、活性化協議会的なものなるものに設立を目指して取り組んでいただきたいと思っております。また、空き家とか商工会の自体では不動産を活かしたというふうな形で、よくばり体験のシルバー版というものを計画しております。そういった他団体のやっていることの情報の共有ということも含めて町がもっと乗り出して欲しいと思っておりますので、どうぞ前向きな検討、また、協議会の設立を望みまして私の発言に代えさせていただきます。終わります。

**枅富議長** 以上で通告のまいっておりました方の一般質問は全て終わりました。これで一般質問を終わります。